浜中海岸 高潮対策事業

浜中海岸は、昭和27年十勝沖地震や昭和35年チリ沖地震等により甚大な津波被害を受け、これまで堤防等を整備し背後地を防護してきました。東北地方太平洋沖地震後に国が示した方針に基づき、道が設定した設計津波水位(L1津波※)より既設の堤防等が低いことから、津波対策として堤防改良等を行い、背後地の浸水被害を防止又は軽減し、地域住民の安心・安全を確保するものです。

※発生頻度は高く、津波高は低いものの大きな被害をもたらす津波

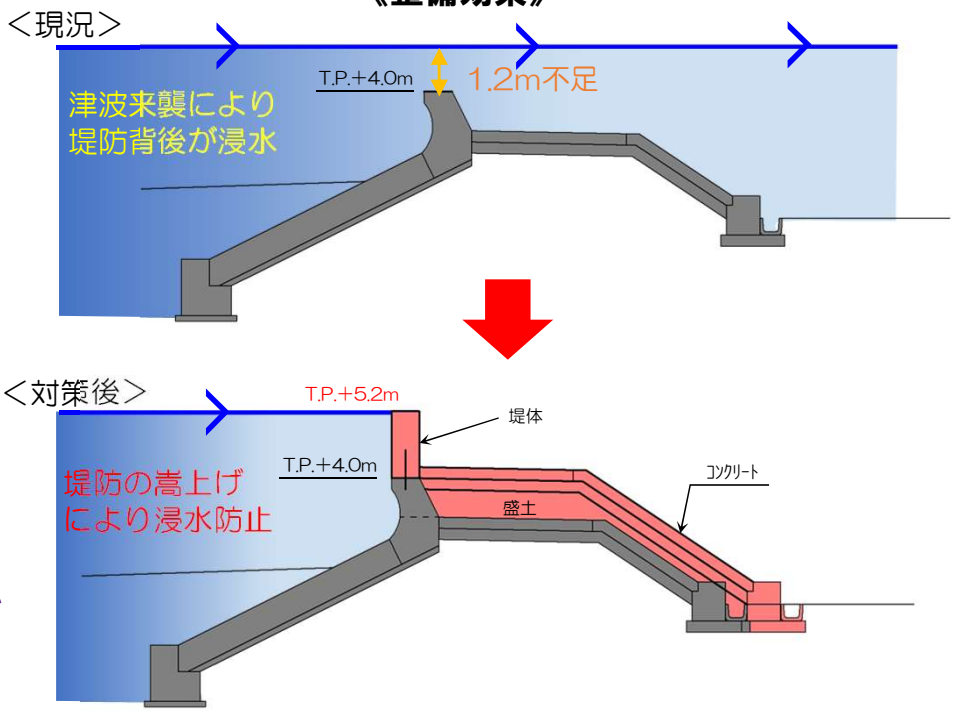
《事業概要》

事業延長	：	L=7.614km
事業期間	：	令和4年度～令和13年度（予定）
全体事業費	：	約37億円
事業内容	：	堤防L=7,614m、水門N=1基、乗越道路等

《写真：過去の津波被害等》

S27年十勝沖地震
S35年チリ沖地震
津波災害慰霊碑
＜子供を抱える女性＞

《位置図》

地図の出典先：国土地理院

《整備効果》